

平成29年度「世界青年の船」事業 コース概要

CR	<p style="text-align: center;">子どもの人権 Children's Rights</p> <p>児童労働、人身売買、子ども兵士など、子どもの人権をめぐる様々な課題が世界中で深刻さを増している。これに対して、SDGsは、「すべての子どもが暴力や搾取から解放される世界」を目標に掲げ、子どもを守られるべき対象としてだけでなく、「重要な変化の担い手」とも位置づけている。本コースでは、ビジネスと子どもの人権にかかる問題、伝統と文化の中での子どもの人権、災害や紛争における子どもの人権など、多様な課題に光を当て、世界の子どもたちの置かれた現状と課題を理解するのみならず、具体的なケースに主体的に取り組むことを通して、参加青年一人ひとりが子どもとともに変化を創り出す問題解決のアクターとして活躍できるための道標を築くことを目指す。</p>
DI	<p style="text-align: center;">ダイバーシティ推進とインクルーシブ社会の実現 Diversity and Inclusion</p> <p>個人レベルから地域社会、そして国家間に亘るグローバルレベルにおいて、お互いの違いからくる他者排斥や差別は未だに消失しない。それが個人レベルから国家間レベルの葛藤や紛争にもつながっている。そのような中で、今後、グローバル社会で活躍するには、一人ひとりの文化的背景に基づくものの考え方の違いを理解し、多様性や違いを豊かな資源として認識できる理解力を養うことが必須である。本コースでは、民族、人種、性別、性自認、性的指向、文化、身体的属性(障害の有無を含む)による多様性を理解したうえで、無意識的にもってしまっているステレオタイプやバイアスに自覚的になる機会を提供する。また、参加者同士のディスカッションを通して、多様性を理解するだけでなくとどまらず、いかに誰もが対等な関係で関わり合える包括的な社会を自身の現場で築いていくかを学び、持ち帰ることをねらいとする。</p>
DRR	<p style="text-align: center;">防災活動のための人材育成 Capacity building for Disaster Risk Reduction</p> <p>持続可能な開発目標(SDGs)でも強調された通り、防災は持続的な発展を達成する上でカギとなる概念であり、災害に対するレジリエンスを高めるためのリーダーシップが、地域レベル・国家レベルのみならず、国連レベル・地球レベルで非常に重要である。政府の役割が不可欠である一方で、政府による活動や能力を補完する必要性は恒常的に存在しており、社会全体による参加と連携が求められている。このような文脈において、青年たちの防災に対する意識を高め、リーダーシップを発揮して社会に働きかけることができる人材を育てることを目的とする。</p>
LD	<p style="text-align: center;">生活習慣病 Lifestyle-related Diseases</p> <p>世界の先進国の主な死因は虚血性心疾患、発作および癌などの生活習慣病であり、グローバルヘルス、人間の安全保障、人間発達に重大な影響を及ぼす「予防可能な疾病」として、SDG3の優先事項として取り組まれている。このコースでは、生活習慣病やそれに関連するリスク要因など、グローバルヘルスの状況に関する知識を共有した上で、家庭内、コミュニティ、国家、グローバルの各レベルにおいて、ケアコスト、労働力の喪失、生活の質(QOL)向上に向けたヘルスケアシステムのあり方などを題材に、生活習慣病がもたらす社会的・経済的な影響について議論し、自身のコミュニティに活かせる制度の考察、疾病予防・健康増進のために周囲の人々を動かす方策を持ち帰ることをめざす。</p>
SD	<p style="text-align: center;">持続可能な経済発展を実現するソーシャル・イノベーション Social Innovation for Sustainable Development</p> <p>サーキュラー・エコノミーは資源を最大限に活用し、最小限の無駄と環境への影響で資源を再生し、より効率の良い生産をもたらす。また、インクルーシブ・ビジネスはバリューチェーンの中に地元の人々や地域を含め活性化させる。そして、サーキュラー・エコノミーやインクルーシブ・ビジネスはSDG12(持続可能な生産と消費)の目標に繋がるものである。このコースでは社会問題を取り上げ、サーキュラー・エコノミーを通して経済・社会格差を縮めるために具体的に何ができるかを話し合う。さらに参加者はSDG12を意識し、自国で実施可能な社会・経済問題の解決につながるソーシャル・ビジネスプランを考える。</p>
EMP	<p style="text-align: center;">自他をエンパワメントする対話 Conversations about empowering self and others</p> <p>私たちが、地域社会、国際社会等において何らかの貢献をし活躍していくためには、自己及び他者をエンパワーすることにより、個人及び集団が持つ潜在能力を引き出すことが重要である。このコースでは、エンパワメントの定義、意味、役割等を理論的に理解した上で、個々の参加青年が持つ様々な経験を題材に実践することを通じて、エンパワメントのために必要な対話とはどのようなものかを議論することにより、問題解決、人間関係構築等のために必要なコミュニケーション力を体得し、グローバルリーダーとして社会に貢献するために必要な資質を身につける。</p>
IC	<p style="text-align: center;">国際協力活動 International Cooperation</p> <p>貧困、飢餓、テロ、紛争、自然災害、環境破壊、気候変動など、今、世界は一国だけで解決するのは困難な、複雑に絡み合った課題に直面しています。今を生きるわたしたちに一体何ができるのでしょうか。このコースでは、国際協力活動への理解を深め、将来グローバル・リーダーとして国際協力活動で活躍できる人材になるために必要な知識、技術、経験は何かを理解し、世界の課題解決のために何ができるのかを共に考えることを目的とする。</p>